

「院長さん きいて！」への回答

「地域の医療機関では受け入れてもらえない障害者に配慮し、慣れた当院で治療を続けさせてほしい」とのご意見に改めてお答えします。

前にもお答えしましたように、当院は、急性期の重篤な疾患に対応する小児専門病院ではありますが、小児期に発症した疾患のため、成人期に達してもなお当院での医療を必要とする患者様については、年齢に関係なく診療することを基本としています。当然のことながら、これは障害の有無に関わらず、全ての患者様に対する基本的な対応方針であり、当院のスタッフ全員が理解している事項であります。

しかしその一方で、患者様が成人期にさしかかかりますと、疾患そのものの状態が変化する場合がありますし、そもそも当院では対応できない疾病も出てきます。そうした観点から、診療科によっても対応に違いはありますが、ある一定の年齢にさしかかった患者様に対しては、成人期の医療に円滑に繋ぐことを見据え、ご家族様のご意向も踏まえながら、関係スタッフが連携して地域の医療機関への転院準備を進めることとしています。

ご指摘がありましたように、障害者の方々が新たな医療機関に受診することの大変さは、当院にも数多くの相談が寄せられており、十分に承知しているところではあります。上述のように、障害者の方々の全年齢の疾病を診ることは困難な場合がありますので、ご理解をお願いいたします。

(次ページに続きます)

(前ページからの続きです)

また、関連して、これも前にお答えしたことはありませんが、当院では、急性期の疾患を乗り越えた後も、日常的に医療支援を必要とする患者様に対しては、地域の医療機関と連携しながら在宅医療の充実を図り、長期的なフォローアップ体制の整備に努めています。これは、患者様の医療情報を地域の医療関係者と共有し、その上で安心して受診していただけるような環境を整えていくということの意味するものであります。

確かに、通いなれた病院から転院することへの不安は大きなものがあるかとは思われますが、成人期の医療に繋ぐ必要のある患者様に対しては、円滑な転院に向けて病院全体で取り組んでまいります。

様々な不安、あるいは地域の医療機関について知りたい情報がある場合には、どうぞご遠慮なさらずに、各相談担当者や病院スタッフにお申し付けくださいますようお願いいたします。

病 院 長

平成31年 2月 6日

No.59

「院長さん きいて！」への回答

「病衣（ズボン）のゴムがゆるいのが多い」とのご意見にお答えします。

このたびは、病衣の不具合でご不便をおかけしてしまい、大変申し訳ありませんでした。

ご意見の内容につきましては、病衣の貸出サービス業務を委託している業者に伝えるとともに、病衣の不具合については十分に注意するよう指導しましたので、ご理解をお願いいたします。

なお、今後もしもご不便を感じられることがありましたら、病棟スタッフまでご遠慮なくお申し付けくださいますようお願いいたします。

病 院 長

平成31年 2月 6日

No.60

「院長さん きいて！」への回答

「外来プレイルームなどのコンセントの安全性が気になる」とのご意見にお答えします。

「こどものコンセント感電事故」については、新聞報道でも注意喚起されていますので、ご意見を踏まえ、外来プレイルームや廊下などに設置しているコンセントに安全対策グッズを取り付けましたので、ご理解をお願いいたします。

このたびは、安全対策について貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「こども病院と拓桃の統合時の約束に反して唐突に転院させられたことは大きな問題であり、多くの患者・家族が同様に不満を感じていることから、改めて病院説明会を開催してほしい。」などのご意見にお答えします。

旧宮城県拓桃医療療育センターとの統合後から、当院を利用される患者数が想定していた以上に増えましたため、一部診療科においては適時適切な医療を提供することが困難となりましたことから、他の医療機関での治療が可能と判断されました成人の患者様を中心に転院を勧めてまいりました結果、当該医療機関と連携の面で多大なご迷惑をお掛けしましたことにつきましては、深くお詫びを申し上げます。

当院では、小児期に発症した疾患のため、成人期に達してもなお当院での医療を必要とする患者様については、年齢や障害の有無に関係なく診療することを基本としていますが、患者様が成人されますと、疾患そのものの状態が変化する場合がありますし、そもそも当院では対応できない疾病も出てまいります。

したがって、患者様の転院の問題につきましては、一律に対応すべきものではなく、個々の問題として各診療科で対応すべきものでありますので、ご要望がありました病院説明会の開催につきましては見送らせていただきます。

ご了承をお願いいたします。

(次ページに続きます)

(前ページからの続きです)

次に、「ボランティアハウス」を成人のリハビリテーションやデイサービスを提供する場として検討すべきとのご要望についてですが、成人に対するこれらのサービスにつきましては、地域の医療機関や福祉関係施設と連携しながら、在宅医療の充実を図っていく中で実現していくべきものと考えており、現状での対応は困難でありますので、併せてご了承をお願いいたします。

なお、当院のご利用でお困りの点がありましたならば、相談窓口にお申し付けくださいますようお願いいたします。

病 院 長

平成31年 2月 6日

No.6 1-②

「院長さん きいて！」への回答

「給食のまずさに驚きました！！」とのご意見（No.6 1-①の続き）にお答えします。

このたびは、提供した食事の内容でご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。

入院中の食事については、できるだけ美味しいものを提供したいとの思いから、給食部門のスタッフが中心となり、患者様の毎食の喫食量調査を始め、食事についてのアンケート調査や食事時の患者の皆様から直接感想をお伺いすることなどの取組みを行っています。また、提供している食事と同じものを医師と管理栄養士も喫食するなど、多面的な評価に努めているところです。

今回いただきましたご投書の内容を拝見しましたところ、当院の給食に対し、より具体的で建設的なご意見をお持ちのように推察されましたことから、可能であれば直接ご意見を拝聴させていただきたいと考えていますので、病棟スタッフなどにお気兼ねなく申しつけくださいますようお願い申し上げます。

病 院 長

平成31年 2月 6日

No.6 2

「院長さん きいて！」への回答

「体温計(たいおんけい)に付けているアンパンマンのステッカーについて、ドラえもんなど小学生用(しょうがくせいよう)のものも作ってほしい」とのご意見(いけん)にお答(こた)えします。

こども病院(びょういん)では、小(ちい)さなこどもがこわがらずにお熱(ねつ)を計(はか)れるよう、体温計(たいおんけい)をかくすためにアニメのキャラクターのような絵(え)のステッカーを取(と)り付(つ)けています。

この体温計(たいおんけい)のステッカーについて、小学生用(しょうがくせいよう)のものも考(かんが)えてほしいとのご意見(いけん)をいただきましたので、何(なに)か考(かんが)えたいと思(おも)います。

このたびは、とてもたいじなご意見(いけん)をいただき、ありがとうございました。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「名札をつけていない看護師の名前が分からないので顔写真の掲示を検討してほしい。また、初対面時における礼節をわきまえた言葉遣いや看護態度に注意してほしい。」とのご意見にお答えします。

このたびは、看護師の名札の着用や言葉遣いなどで、ご不快な思いをさせてしまい心からお詫び申し上げます。

新生児病棟の看護師は小さな赤ちゃんへのケアが多いため、他の病棟職員のように名札を着用できない状況がありますので、ご家族様にご挨拶をする際は名札を提示するよう指導しているところです。それが不十分でありましたことから、改めて指導いたしますとともに、日々のケアに入る場面では名前を名乗らせることを徹底いたします。

なお、看護師の顔写真の掲示については、掲示スペースの関係から難しく、ご家族様へのお知らせを優先して掲示させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

次に、看護師の言葉遣いや態度につきましては、接遇研修などを通じて常々指導しているところですが、お子様やご家族様のお気持ちに寄りそう事ができなかった態度は決して許されることではありませんので、ご指摘の内容を担当部門に伝達し、改善するよう指示いたしました。

常に基本に立ち返り、今後ともよりあたたかな看護の提供に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「ごはんをもっとおいしくしてください」とのご意見にお答えします。

当院では、できるだけ美味しい食事を提供するため、給食部門のスタッフが定期的に食事についてのアンケート調査を実施しているほか、食事の時間中に病棟を訪問し、患者様から喫食状況や感想などを直接お伺いしているところです。

今年度実施しましたアンケート調査結果では、約70%の方から「おいしい・まあまあおいしい」との回答が寄せられましたので、概ね好評と考えていますが、これで満足することなく、さらに上を目指して努力してまいりますので、これからも、食事のことでお気づきの点がございましたら、お気軽に病棟スタッフへお声がけくださるようお願いいたします。

このたびは、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

病 院 長

平成31年 2月 6日

No.68

「院長さん きいて！」への回答

「医師の説明態度が威圧的である」とのご意見にお答えします。

このたびは、医師の対応において、ご家族の皆様にご不快な思いをさせてしまいましたことにつきまして、心からお詫び申し上げます。

ご指摘の内容につきましては担当者に伝達するとともに、各医師に対しましても、患者様やご家族様には親切丁寧に対応し、威圧的な態度はとらないよう指示したところです。

今後とも、患者様やご家族様に寄り添った医療を提供するように努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

病 院 長

平成31年 2月 6日

No.69

「院長さん きいて！」への回答

「子供の進路に関する主治医の発言内容に不満がある」とのご意見にお答えします。

このたびは、医師の対応において、ご不快な思いをさせてしまいましたことにつきまして、心からお詫び申し上げます。

ご指摘の内容につきましては担当者に伝達するとともに、各医師に対しましても、患者様やご家族様への説明については、わかりやすくかつ明瞭に説明すると同時に、その場の状況に対応した適切な発言に努めるよう指示したところです。

今後とも、患者様やご家族様に寄り添った医療を提供するように努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

病 院 長